

第3回点字考案200年記念事業記念講演会 in サイトワールド2023
第二部 日本における児童・生徒、中途失明者に対する点字指導のあり方
点字指導の実際
——「私の文字」と胸を張って社会へ出るために——心を育む現場から
福島県立視覚支援学校教諭 渡邊寛子

1 点字切り替え・導入の事例から

1. 中途失明生徒への切り替え —— 大学時代の点訳ボランティアと国立
塩原視力障害センターでの生活訓練の経験を活かして

- ①復帰後初仕事は15歳（高1）への切り替え
- ②14歳（中2）への触読指導
- ③17歳（高2）での併用
- ④18歳（高3）専攻科へ進む前に
- ⑤30～50代 保健医療科の国語の授業 週2回

2. 先天盲5歳 —— 地域の小学校へ上がる前に

3. 結論

- ①触読指導の目標をはっきりと。
何のために、いつまで、どのくらいの速さ？
この後の人生をどう歩みたいか
- ②触読速度変化比較データ（18人の記録）からの考察
1ページ18行初見で何分で読めたか

2 小学1年生からの指導のお手伝い

小学一年国語1-1、算数1-1は点字の触読に特化
発達段階に応じて読み物を準備
国語の単元テストや夏休みの課題の校正

3 校内文字能力テスト：五十音書き、転写、聴写、速読

- 1. 点字を速く正確に、読み書きする力を育てる
- 2. 小学生が高校生と共に受ける機会を意図的に作る

3. 速読練習用題材

- ①「アミドゥブライユ」のバックナンバーを活用
- ②去年の図書便り
- ③秋の読書

4. 点字の文字能力テストの残り時間は、空間認知と触察能力向上を目指して点字つきかるたとり
- 4 本を読んで行動を起こす
 1. 今年度小学生課題図書「給食室の1日」、昨年度「おすしやさんにいらっしやい！ 生きものが食べものになるまで」
 2. 「犬と話をつけるには」 数年後盲導犬ユーザーに。
 3. 「赤毛のアン」の舞台へ高校生の夏休みに家族旅行
 4. ココイチ カレーハウス創業者の半生を読んで憧れ、大学進学を目指す。コロナ1年目のテイクアウト体験
5. 1.①の15歳の場合
 - ①五十音、清音が一通り終わった後の壁
→ くじけそうになっても、「あきらめさせないでください」
 - ②読みたい小説を片面で出す。
→ 点の潰れないピンディスプレイ
→ 教科書は紙なので自分から紙に戻る
 - ③スピーチ「私の宝物紹介」：手（点字を読む指）
 - ④3月に作文コンクールで最優秀賞。表彰式で朗読しなくてはならなかった。点字用紙5枚を1ヶ月で20分→5分半
 - ⑤卒業後、「歴女と知り合ったので、点字で歴史小説を読んでいます。」

最後に

5歳で点字導入した生徒がこの4月に大学進学
「私の文字」をありがとう（点訳ボランティアにじの会40周年に寄せて）
5月の大学祭で、点字サークルで初めて教える体験
つながっていく点字のご縁
未来を拓く若い力に期待